

臨床研究の実施に関する情報公開

当院では、多機関共同研究の代表機関である静岡県立総合病院臨床研究倫理委員会にて審査を受けたうえで、所属機関長の許可を得て下記の臨床研究を実施します。関係各位のご理解とご協力をお願い申し上げます。

患者さん又は患者さんの代理の方が、この研究のために試料・情報が使用、提供されることにご了承いただけない場合は、下記の問い合わせ先までご連絡ください。

| | |
|-------------------------|--|
| 研究課題名 | 抗 MRSA 薬適正使用基準と投与期間短縮による医療資源効率化の検討 |
| 対象者 | 2019年4月～2023年3月に静岡県立総合病院へ入院し、血液培養検査を実施され、抗 MRSA 薬（バンコマイシン、テイコプラニン、ダプトマイシン、リネゾリド）いずれかの投与を受けた18歳以上の患者さん。 |
| 研究期間 | 研究機関の長の実施許可日 ～ 2027年3月 |
| 試料・情報の利用又は提供を開始する予定日 | 2026年2月20日 |
| 研究の目的 | バンコマイシン、テイコプラニン、ダプトマイシン、リネゾリドといった薬は、MRSA（メチシリン耐性黄色ブドウ球菌。抗菌薬が効きにくい菌のひとつ）や、他の感染症の原因となる細菌に効く抗菌薬です。これらの薬は、原因菌がまだ分からない段階から使われることがあります。血液を培養して検出された細菌結果に基づいて継続が必要かどうかを判断します。継続が必要となる検査結果の多くは3～4日以内に判明しますが、継続が不要かどうかの確定には5日間設けており、それまで抗 MRSA 薬が続けられることがあります。この研究では、抗 MRSA 薬の投与継続を判断する際の一助となる情報を提供し、より早く最適な抗菌薬選択に繋げることを目的としています。これにより、副作用を防ぐとともに、耐性菌の発生を抑え、限られた医療資源をより有効に活用できるようにしたいと考えています。 |
| 利用または提供する試料・情報の項目及び利用方法 | <p><収集する方法・項目></p> <p>対象となる患者さんの診療録（カルテ）から、年齢や性別、入院時の状態、血液培養検査の結果、抗菌薬の使用状況など、診療に関する基本的な情報を収集します。</p> <p><試料・情報の授受の方法></p> <p>当院で収集した試料・情報は、個人を特定することができないように研究用の識別番号を用いて加工し、メール送付により共同研究機関である静岡県立大学に集約され解析します。</p> |
| 研究実施体制 | <p><研究代表機関および研究代表者></p> <p>静岡県立総合病院 杉山恭平</p> <p><共同研究機関および研究責任者></p> <p>静岡県立大学 伊藤邦彦</p> |

| | |
|--------|---|
| 問い合わせ先 | <p>他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内に限り、本研究の計画や関連資料を閲覧することが可能です。この研究に関するお問い合わせ、ご意見等ございましたら下記へご連絡ください。</p> <p>静岡県立総合病院 客員研究員 杉山恭平 電話番号：054-247-6111（代表）</p> |
|--------|---|